

令和7年度全国学力・学習状況調査の調査結果について

令和7年4月17日（木）、全国の小学校第6学年及び中学校第3学年の全児童生徒を対象に実施された令和7年度全国学力・学習状況調査の調査結果が7月14日（月）から3段階に分けて順次、文部科学省・国立教育政策研究所から公表されています。

この調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立するために実施するものです。

各教科の平均正答率（％）の比較					各教科の無解答率（％）比較				
	豊栄中	東広島市	広島県	全国		豊栄中	東広島市	広島県	全国
国語	59.5	57.9	54.5	54.3	国語	6.8	5.1	6.1	6.7
数学	38.9	50.0	47.4	48.3	数学	10.4	8.0	9.1	10.6

平均IRTスコア				
	豊栄中	東広島市	広島県	全国
理科	484	517	495	503

CBT形式（コンピューター使用型調査）で実施された理科は、共通問題と一人一人が違う問題に解答するため、平均正答率ではなく、問題の難易度を考慮して統計的に算出した平均スコアが公表。

1 国語の調査結果の概要

本校の平均正答率は、学習指導要領の内容における「知識及び技能」の(1)言葉の特徴や使い方に関する事項、及び「思考力、判断力、表現力等」のA話すこと・聞くことが、市・県・全国平均を10ポイント以上上回っている。また、「思考力、判断力、表現力等」のB書くことは、市・県・全国平均と同程度であったが、C読むことは、市・県・全国平均を10ポイント程度下回っており今後の課題である。問題形式別にみると、短答式問題の正答率が市・県・全国平均を10ポイント以上上回っている。記述式問題の正答率は、市・県・全国平均を上回っているものの、36.1％と40％未満の値であり今後の課題である。無解答率は、市平均上回っているものの県・全国平均と同程度であった。今後は、授業等を通して、分からない問題に直面した際、じっくり問題に向き合い解答しようとする意欲を育てていく必要がある。

学習指導要領の内容並びに評価の観点及び問題形式における各区分の平均正答率（％）

分類		区分	豊栄中	東広島市	広島県	全国
全体			59.5	57.9	54.5	54.3
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	61.1	52.3	48.0	48.1
		(2)情報の扱い方に関する事項	—	—	—	—
		(3)我が国の言語文化に関する事項	—	—	—	—
	思考力、判断力、表現力等	A話すこと・聞くこと	68.1	56.8	53.5	53.2
		B書くこと	55.6	57.3	52.9	52.8
		C読むこと	53.7	64.0	63.0	62.3
評価の観点	知識・技能		61.1	52.3	48.0	48.1
	思考・判断・表現		59.3	58.8	55.6	55.3
	主体的に学習に取り組む態度		—	—	—	—
問題形式	選択式		70.8	66.1	63.8	63.9
	短答式		61.1	78.4	72.3	73.6
	記述式		36.1	31.1	27.1	25.3

2 数学の調査結果の概要

学習指導要領の領域におけるC関数以外の領域が、市・県・全国平均を下回っている。特に、A数と式及びB図形は、市・県・全国平均を10ポイント以上、Dデータの活用は、市平均を7ポイント程度下回っている。A数と式は27.8％と30％未満の値、B図形は30％半ばの値、C関数は40％代後半の値であり今後の課題である。評価の観点における知識・技能、思考・判断・表現も市・県・全国平均を10ポイント程度下回っている。特に、知識・技能は40％前半の値、思考・判断・表現は20％前半の値であり今後の課題である。無解答率は、全国平均と同程度であるものの、市・県平均を上回っており、授業等を通して、分からない問題に直面した際、じっくり問題に向き合い解答しようとする意欲を育てていく必要がある。

学習指導要領の内容並びに評価の観点及び問題形式における各区分の平均正答率（％）

分類	区分	豊栄中	東広島市	広島県	全国
全体		38.9	50.0	47.4	48.3
学習指導要領 の領域	A 数と式	27.8	43.1	42.6	43.5
	B 図形	34.7	47.2	45.2	46.5
	C 関数	48.1	39.6	47.7	48.2
	D データの活用	53.7	61.3	58.0	58.6
評価の観点	知識・技能	43.2	54.6	53.3	54.4
	思考・判断・表現	32.4	42.6	38.5	39.1
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—
問題形式	選択式	38.9	53.2	54.3	54.0
	短答式	42.1	52.7	50.2	52.0
	記述式	34.4	43.6	39.3	39.6

3 理科の調査結果の概要

平均IRTスコアは、市平均を30ポイント以上、県平均を10ポイント、全国平均を20ポイント程度下回っている。学習指導要領の領域の「エネルギー」を柱とする領域、「粒子」を柱とする領域、「地球」を柱とする領域に課題が見られた。今後は、問題解決や科学的な探究のプロセスを通して、学習を通して身に付けた知識を活用することができるような指導の充実が必要である。

4 生徒質問紙の回答結果の概要

① 規則正しい生活を身に付ける

規則正しい生活は、成長過程の生徒にとって非常に重要です。生活リズムが乱れると日常生活の様々な場面に悪影響が出ます。一日の活動の源となる朝食をきちんと摂ることを前提として、「三点（起床時刻、学習開始時刻、就寝時刻）固定」し、規則正しい学習習慣を身に付ける必要があります。固定する三つの時刻は、いずれも自分の意思で時刻を決めることができるものであり、自分で時刻を固定し生活を規則正しくすることは、自分自身をコントロールする力の育成につながります。

関連する質問事項の肯定的回答の割合（％）

質問番号	質問事項	豊栄中	広島県	全国
(1)	朝食を毎日食べていますか	100.0	91.4	91.4
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	83.3	82.6	81.2
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	100.0	93.3	92.9

② 自己肯定感・自尊感情を高める

これからの時代を生きていく生徒たちが、国際社会で活躍し、豊かな社会を形成していくためには、生徒たちが自分のよさに気づき、自信をもち、他者と積極的に関わって豊かな人間関係を築いていく力を高めることが大切です。その土台となるのが、自己肯定感・自尊感情です。これらは、他者と比較することなく、自分自身が「今の自分」を認め尊重（肯定）することで生まれる感覚であり、物事を前に進めるための原動力となります。

関連する質問事項の肯定的回答の割合（％）

質問番号	質問事項	豊栄中	広島県	全国
(5)	自分には、よいところがあると思いますか	72.2	87.1	86.3
(7)	将来の夢や目標を持っていますか	50.0	69.2	67.9
(8)	人が困っているときは、進んで助けていますか	77.7	91.3	91.3
(9)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	88.8	97.1	96.5
(11)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	88.9	97.2	96.8
(14)	友達関係に満足していますか	77.8	92.4	91.7

③ 自ら考え、判断し、表現する

急速に社会が変化する中、これからを生き抜く子供たちには幅広い知識とともに、柔軟な思考に基づく判断や他者との共存など、変化に対応する能力が求められています。これからの社会で主体性をもって活動していくためには、学び得た知識や情報を基盤としながら、自ら考え、判断し、表現する力を育てていくことが必要となります。

関連する質問事項の肯定的回答の割合（％）

質問番号	質問事項	豊栄中	広島県	全国
(13)	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	77.8	79.9	79.6
(27)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	66.6	75.6	75.6
(35)	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	88.9	96.5	96.4
(42)	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	50.0	79.5	78.0